

一般環境中(水質)の内分泌かく乱化学物質等調査結果

環境局環境保全部環境保全課

電話 245-5185 内線 2714

1 目的

内分泌かく乱化学物質は、微量の採取によっても人体等に影響を及ぼす可能性が指摘されていることから、科学的に未解明な部分が多いものの健康影響への未然防止の観点から対応することが必要であるため、市内におけるその存在状況を把握するとともに、今後の基礎資料を得ること目的に調査を実施した。

2 調査日

平成 22 年 11 月 24 日 (水質)

3 調査方法

外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル (水質・底質・水生生物) (環境省) に
より調査を実施した。

ただし、 o,p' -DDT については、モニタリング調査マニュアル (環境省) に基づき実施
した。

4 調査結果

(1) 表 1 のとおり

5 調査結果の評価

(1) すべての項目について、環境省がこれまで実施した全国調査結果の範囲内であった。

(2) ノニルフェノール、4- t -オクチルフェノール、ビスフェノール A について、全地点で
予測無影響濃度 (それぞれ $0.608 \mu\text{g/L}$ 、 $0.992 \mu\text{g/L}$ 、 $24.7 \mu\text{g/L}$) を下回っていた。

表 1 水質調査結果

調査項目	水質					単位
	花見川 汐留橋	都川 青柳橋	葭川 都賀川 橋梁	鹿島川 下泉橋	村田川 高本谷橋	
調査年月日	平成 22 年 11 月 24 日					
ポリ塩化ビフェニル類 (PCB s)	0.95	0.39	0.34	0.32	0.23	ng/l
一塩化ビフェニル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	ng/l
二塩化ビフェニル	0.07	0.06	0.05	0.06	0.04	ng/l
三塩化ビフェニル	0.22	0.09	0.08	0.08	0.04	ng/l
四塩化ビフェニル	0.43	0.18	0.14	0.11	0.09	ng/l
五塩化ビフェニル	0.15	0.04	0.04	0.03	0.04	ng/l
六塩化ビフェニル	0.06	0.02	0.02	0.03	0.02	ng/l
七塩化ビフェニル	0.02	<0.01	0.01	0.01	<0.01	ng/l
八塩化ビフェニル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	ng/l
九塩化ビフェニル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	ng/l
十塩化ビフェニル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	ng/l
4- t-オクチルフェノール	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	μ g/l
ノニルフェノール	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	μ g/l
ビスフェノール A	0.06	0.08	0.02	<0.01	0.02	μ g/l
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	μ g/l
フタル酸ブチルベンジル	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	μ g/l
ベンゾ (a) ピレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	μ g/l
2, 4-ジクロロフェノール	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	μ g/l
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01	μ g/l
o, p'-DDT	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	μ g/l

一般環境中(水質)の内分泌かく乱化学物質等調査地点

